

## APPLIED BUSINESS STUDIES REVIEW

March 2013

No. 31

## Study of Theory and Research

## Articles

Study of Relationship in the Early Career Stage  
- From a View of Developmental Network -

Masao SAKAMOTO, Kumiko NISHIO — 1

A Case of the Project-Based Learning for Enhancing the Competence Based on Regional  
Needs, and Events to have a Good Influence on Growth

Yoshitaka NITATE — 11

## Study Notes

The Formation of Administrative Secretaries at Medical Institutions

Yumi KUROKI — 27

A Basic Study on Emotional Labor among Medical Secretaries  
- an experimental trial of the theoretical framework structure -

Mai SATO — 37

## Study of Educational Development

Training for the Interview Section of the Level One Secretarial Skills Test  
with a focus on student in the active roleAkimi NAKAHARA, Kumi TAMURA  
Kenju NAKAMUEA — 11

## APPLIED BUSINESS STUDIES REVIEW

ビジネス  
実務論集

No. 31

2013年3月

## 理論・調査研究

## 論文

キャリア初期の人間関係に関する研究  
- デベロップメンタル・ネットワークの視点から -

坂本 理郎, 西尾久美子 … 1

課題解決型学習で「企業が求める力」は育成できるのか  
- 学内合同企業説明会の企画運営PBL参加者の育成と、その育成に影響を与えたイベント -

見館 好隆 … 11

## 研究ノート

医療機関における経営者の秘書組織とその形態について

黒木 由美 … 27

医療秘書の感情労働に関する基礎研究  
- 理論的枠組構築への試行 -

佐藤 麻衣 … 37

## 教育開発研究

秘書技能検定1級面接試験における指導方法の探求  
- 学生主体の活動を中心に -

中原亜紀美, 田村 久美, 中村 健壽 … 47

## 日本ビジネス実務学会 研究対象領域

### 1. ビジネス実務研究・教育の目的

ビジネス実務に関する研究においては、ビジネスの現場で日々営まれている事象に学際的にアプローチします。これはフィールドに立脚した実践的なものであり、働く個人の能力向上に役立ち、ビジネス現場の活性化に寄与することを目指します。また、研究活動を通じて個人ならびに組織間の有機的な連携と情報の共有化が図られ、ビジネス実務水準の向上と課題解決に役立つことを目的とします。さらに、このような研究により得られた成果を教育及びビジネス現場に還元するシステムを構築し、社会に貢献します。

### 2. ビジネス実務の研究対象領域

【1】 ビジネス実務の教育開発研究	【2】 ビジネス実務の調査・研究
1) ビジネス実務教育プログラム開発と教材開発 ・コミュニケーション能力 ・プレゼンテーション能力 ・部下指導力 ・リーダーシップ ・コーディネーション能力 ・コラボレーション能力  2) 教授法の研究 ・マルチメディア環境の利用 ・参加型授業の展開 ・知識習得のための新しい講義法 ・体験学習とその評価 ・インターンシップの効果的活用	1) ビジネス環境と実務 ・就業・雇用形態の多様化 ・業務のサービス化 ・グローバルゼーション ・情報ネットワーク化  2) 時代を切り拓くビジネス実務 ・新しいビジネス実務の創造 ・プロジェクト活動の方法と評価 ・ビジネス実務の評価 ・ビジネス実務のアウトソーシング化 ・共生社会実現のためのビジネス実務 (ジェンダー、高齢者、障害者の受け入れなど) ・組織を超えたネットワーキング  3) 個人とチームの実務能力の開発 ・ビジネスの基本能力の開発 ・ビジネスキャリアの開発 ・ビジネス実務能力の生涯学習

## 編集後記

ビジネス実務論集第31号をお届けします。

今回は、10編の投稿がありました。投稿原稿をそれぞれの領域の専門家諸氏（各2名）に査読依頼しました。また、12月の編集委員会の審査の前に、全10編の原稿を編集委員に送付し、あらかじめ読んできたうえで、編集委員会において、査読意見を基に慎重に審査いたしました。審査基準は、①ビジネス実務の調査・研究または教育開発研究としてのテーマの相応しさ（学会会員の関心度）、②研究の独創性、③新しい事実や価値ある結論が得られているかといった研究分野への貢献度、④文献レビューの十分さ、⑤論旨の明瞭さ、⑥構成の明瞭さ、⑦文章の平易さ、⑧用語の適切さ、⑨タイトルの適切さなどです。

このような審査の結果、5編の原稿を掲載するに至りました。

お忙しい中、査読にご協力いただいた方々には、この場を借りて感謝申し上げます。査読者の方々の丁寧な審査意見が、執筆者並びに本学会の研究・教育力の向上に貢献するものと信じています。

また、審査の結果、掲載に至らないものもありましたが、原稿を執筆し査読を受けるというプロセスは教育・研究の発展のために不可欠であり、投稿いただいたすべての方々のその真摯な研究姿勢に敬意を表します。また、一部原稿に修正を求めたものもありましたが、今後のビジネス実務の教育・研究の発展のためとご理解いただければ幸いです。

（編集委員長 坪井明彦）

■編集委員 坪井 明彦 油谷 純子 大崎 佑一 大重 康雄 桐木 陽子 服部美樹子  
松永満佐子 山口 憲二

ビジネス実務論集  
No.31 2013  
平成25年3月発行

発行 日本ビジネス実務学会 編集委員会  
事務局／〒158-8630 東京都世田谷区等々力6-39-15  
自由が丘産能短期大学内  
TEL (03) 6809-7131

製作 株式会社 川島精版  
〒371-0854 群馬県前橋市大渡町一丁目9番地の9  
TEL (027) 251-4514

断りなく複写・転載を禁ず